

## 永井 恵美子

第24回生

## Profile

石川豊氏(二科展会友)を父にもつ。  
27歳の時と、28歳の時に二科展に入選。  
中部二科展で中日賞受賞。



## 福祉と彫刻の融合

## 「親子合作」で完成

校長先生から中日賞の受賞を機に卒業生の作品を校内に置きたいとお話をいただき父との共同制作というかたちで初めて石彫にチャレンジした。当時、柔道が全国大会で優勝するなど部活動が勢いになっていたのも、モニュメントのモチーフに柔道、野球、吹奏楽などの学校での楽しいクラブ活動を取り上げ星とシャチのシンボルに重ね合わせた。そして父はデッサン、私は石と格闘。クラブの練習にも通いつめ1年かけて完成した。

## 夢

現在は子育ての真っ最中で何もできない私だが、保育の他に福祉などにも強い関心があり、父の作品を中心に現在のアトリエに彫刻や版画の美術館を開き、障害を持った方々と自然に関われる場を設けていきたいと思っている。

## 星城高校の後輩へ

自分のいちばんやりたいこと、その時しかやれないことをやってほしい。やはり高校時代はエネルギーが満ち溢れているときだと思うので、やりたいことを見つけて頑張してほしい。

## 高校の思い出

当時の星城高校には保育科があった。普通科では行わない幼稚園での実習や、国家試験に向けてクラス一丸となって勉強したり、友人同士深いきずなができたり、それが今の子育てや福祉への関心をもつきっかけとなった。



## ✪ 共同制作

彫刻に魅せられ、彫刻と共に50年以上の歳月を重ねた父豊氏との初めての制作。

## ■■ 躍動

星城高校に通う、若さあふれ、輝く若者たちを石という堅物で素朴な素材で表現した愛情豊かな作品。